



美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

花だより 2016 6月号

ごあいさつ

4月より着任しております、支配人の大野と申します。箱根湿生花園は、今年開園40周年を迎えました。開園以来たくさんのお客様にお越し頂きましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。このたび、4月以降途切れておりました「花だより」を再開し、今まで以上に箱根湿生花園の魅力をお伝えしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



支配人 大野 悟



ハマナス

「浜梨」 (バラ科)

北海道～茨城、島根県以北の海岸砂地に生える落葉低木。花には強い芳香があり、香水の原料などに使われます。

観察場所：④

見ごろの花 5/25 現在



エゾキスゲ 「蝦夷黄菅」 ユリ科

北海道、南千島の砂浜や海岸の草地に生える多年草。1つの花は、夕方に開き、翌日の午後まで咲いています。

観察場所：④・⑤



イブキトラノオ 「伊吹虎の尾」 タデ科

北海道～九州の日当たりの良い山地の草原に生える多年草。名前の由来は、滋賀県伊吹山に多く見られることから。

観察場所：④・⑤・⑥



ササユリ 「笹百合」 ユリ科

本州（中部以西）、四国、九州の山地の草原に生える多年草。名は、葉の形が笹の葉に似ることから。

観察場所：①



ヒオウギアヤメ 「檜扇菖蒲」 アヤメ科

北海道、本州（中部以北）の山地の湿原に生える多年草。名前の由来は、花がアヤメに葉がヒオウギに似ることから。

観察場所：④・岩・⑥



ニッコウキスゲ 「日光黄菅」 ユリ科

図鑑での名前（標準和名）はゼンテイカと呼ばれ、別名がニッコウキスゲ。今では別名の方が一般的です。

観察場所：④・⑥



サワラン 「沢蘭」 ラン科

本州中部以北～北海道の高地の湿原のミズゴケの中に自生する多年草。別名、アサヒラン（朝日蘭）。

観察場所：⑧

<草の花>ヒマラヤの青いケシ クサタチバナ ニッコウキスゲ エゾキスゲ トビシマカンゾウ ササユリ クロユリ
 チョウジソウ アヤメ ヒオウギアヤメ カキツバタ エゾノレンリソウ レンリソウ エゾルリソウ
 イブキトラノオ ミヤマヨメナ オカタツナミソウ シロバナノヘビイチゴ ウマノアシガタ サイジョウコウホネ
 イワユキノシタ コウホネ ヒツジグサ ベニコウホネ コキンバイザサ オランダカイウ ワスレナグサ ほか
 <木の花>ニシキウツギ ケナシヤブデマリ ニシキギ ツリバナ コマユミ サラサドウダン ハマナス ほか

6 月に見頃を迎える花



ノハナショウブ 「野花菖蒲」 アヤメ科



ムシヤリンドウ 「武佐竜胆」 シソ科



ヤマボウシ 「山法師」 ミズキ科



センジュガンピ 「千手岩菲」 ナデシコ科



コシジシモツケソウ 「越路下野草」 バラ科



マツモトセンノウ 「松本仙翁」 ナデシコ科

<草の花>ハンカイソウ カキラン ケイワタバコ クガイソウ ムラサキモメンヅル オニシモツケ ほか
 <木の花>ヤマボウシ シモツケ ホザキシモツケ ハコネコメツツジ ほか

イベント

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。選りすぐりの一枚をご応募ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日： 6月8日(水)

時 間：午前10時～正午 定 員：20名



お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根 湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間：9時～17時（入園は16時30分まで）

入園料：大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。



美しい日本の花と出会うところ
箱根湿生花園

花だより 7 2016 月号

7月の見どころ

7月の箱根湿生花園は、湿原植物の美しい季節を迎えます。

現在、植生復元区では、仙石原湿原を代表する花、ノハナショウブが青紫色の美しい花を咲かせています。霧に包まれた湿原に点々と咲く姿はなんとも幻想的です。また、7月も半ばに近づくと湿原に純白のミズチドリという野生ランも目立つようになります。



ノハナショウブ 「野花菖蒲」 アヤメ科

アヤメやカキツバタに似ていますが、葉の脈が目立ち、花の中央に黄色い筋が入るのが特徴です。 観察場所：④・⑥・⑦・植

見ごろの花 6/25 現在



マツモトセンノウ 「松本仙翁」 ナデシコ科

九州（阿蘇）の草原に特産する多年草。花が美しいため、江戸時代から庭園などに植えられてきました。

観察場所：②



クガイソウ 「九階草」 ゴマノハグサ科

本州の山地の日当たりの良い草地に生える多年草。名前の由来は、輪生する葉が何段にも層をなして付くので。

観察場所：③・④・⑤



クサレダマ 「草連玉」 サクラソウ科

名前の由来は、花の様子がレダマ（マメ科の樹木）に似て草なので。「腐れ玉」ではありません。

観察場所：④・⑤・⑥・⑦・植



カキラン 「柿蘭」 ラン科

本州～九州の日当たりのよい湿原に生える多年草。名前の由来は、花が柿色のため。箱根にも自生しています。

観察場所：サ・③・⑦



ヤナギラン 「柳蘭」 アカバナ科

北海道～本州（中部以北）の山地に生える多年草。名の由来は、花が蘭のように美しく、葉が柳に似ているため。

観察場所：⑤



クサフジ 「草藤」 マメ科

北海道、本州、九州の山野の日当たりのよい草地や林縁などに生える多年草。名前の由来は、花や葉が藤に似るため。

観察場所：④

＜草の花＞ ノハナショウブ マツモトセンノウ クガイソウ クサレダマ カキラン ヤナギラン エゾキスゲ
クサフジ オカトラノオ イヌヌマトラノオ ヌマトラノオ ケイワタバコ ハンカイソウ ムラサキモメンヅル
タカネビランジ ユウスゲ キンレイカ ムシャリンドウ ナミキソウ フジアカショウマ サイジョウコウホネ
センジュガンピ アキカラマツ コウホネ ヒツジグサ ベニコウホネ ネムロコウホネ ワスレナグサ ほか
＜木の花＞ ハコネコメツツジ ヤマアジサイ ミヤマイボタ シモツケ ヤマボウシ キンロバイ ほか

7 月に見頃を迎える花



ミズチドリ 「水千鳥」 ラン科



ナガボノシロワレモコウ
「長穂の白吾木香」 バラ科



ホザキシモツケ 「穂咲下野」 バラ科



キキョウ 「桔梗」 キキョウ科



カセンソウ 「歌仙草」 キク科



ヤマユリ 「山百合」 ユリ科

＜草の花＞ シモツケソウ コバギボウシ フシグロセンノウ ハンゲショウ カワラナデシコ ヤブカンゾウ ほか
＜木の花＞ ノリウツギ サツマハギ キンロバイ コマツナギ タマアジサイ ほか

イベント

食虫植物の展示

ウツボカズラやハエトリグサなど、虫を食べてしまう植物を展示します。
開催日：2016年8月1日～8月31日まで。

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。
選りすぐりの一枚をご応募ください。詳細はホームページをご確認ください。

園内ガイドウォーク

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：7月6日(水) 時間：午前10時～正午 定員：20名

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間：9時～17時（入園は16時30分まで）

入園料：大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。



美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

花だより 2016 8月号

8月の見どころ

箱根湿生花園では、神奈川県の花として有名なヤマユリが見ごろを迎えています。ヤマユリが咲いた林の下では、優雅な花とともに上品な香りもお楽しみいただけます。

また、8月には、コオニユリやカワラナデシコなど、夏らしい鮮やかな色彩の花が目立つようになります。8月1日、昆虫を捕え、養分としてしまう植物をあつめた「世界の食虫植物展」も開催致します。



ヤマユリ

「山百合」(ユリ科)

本州近畿以北の山地に生える日本固有のユリです。花は、ユリの仲間では一番大きく、強い香りがあります。 観察場所：サ・①・岩

見ごろの花 7/25 現在



キキョウ

「桔梗」 キキョウ科

日当たりのよい草原に生える多年草。普通花の色は紫ですが、園内では白花も見られます。

観察場所：②・⑤



カワラナデシコ 「河原撫子」 ナデシコ科

本州～九州の日当たりの良い草地や河原に生える多年草。オミナエシと共に、秋の七草の1つです。

観察場所：サ・②・⑦・植



コオニユリ

「小鬼百合」 ユリ科

北海道～九州の山地の草原に生える多年草。名の由来は、オニユリよりも小さく、花色が赤鬼を思わせるため。

観察場所：④・⑥・⑦・植



チダケサシ

「乳葎刺」 ユキノシタ科

本州～九州の日当たりのよい湿原に生える多年草。箱根にも自生し、仙石原湿原に多く見られます。

観察場所：③・⑦・植



フシグロセンノウ「節黒仙翁」 ナデシコ科

本州～九州の山地の林に生える多年草。名前の由来は、葉のついた節のところが、黒くなるため。

観察場所：①・⑧



コバギボウシ

「小葉擬宝珠」 ユリ科

日当たりの良い湿地に生える多年草。名前の由来は、つぼみの形が、橋の欄干に付ける擬宝珠に似て小型のため。

観察場所：③・④・⑦・植

<草の花> オグラセンノウ スマトラノオ ナガボノシロワレモコウ イブキジャコウソウ キリンソウ ゴマナ
イヌゴマ ソバナ ハンゲショウ ユウスゲ カライトソウ ダイコンソウ オオダイコンソウ ギンバイソウ
コウホネ ベニコウホネ ネムロコウホネ ヒツジグサ キツネノボタン ポンテデリア ワスレナグサ ほか
<木の花> ノリウツギ ホツツジ ネムノキ コムラサキ ナツツバキ サツマハギ キンシバイ コマツナギ
イワナンテン キンロバイ ハナツクバネウツギ ブットレア ほか

8 月に見頃を迎える花



レンゲショウマ

「蓮華升麻」 キンポウゲ科



キレンゲショウマ
「黄蓮華升麻」 ユキノシタ科



ナツエビネ 「夏海老根」 ラン科



サギソウ 「鷺草」 ラン科



サワギキョウ 「沢桔梗」 キキョウ科



シラヒゲソウ 「白髭草」ユキノシタ科

<草の花> ミズトンボ オミナエシ ツリガネニンジン シシウド ヒメトラノオ ハコネギク ミソハギ ほか
<木の花> ヤマハギ タマアジサイ ホツツジ ノリウツギ キンロバイ コマツナギ ブットレア ほか

イベント

食虫植物の展示

ウツボカズラやハエトリグサなど、虫を食べてしまう植物を展示します。
開催日：2016年8月1日～8月31日まで。
食虫植物ミニ教室：2016年8月20日～8月31日の毎日。13:30から開催。

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。
選りすぐりの一枚をご応募ください。詳細はホームページをご確認ください。

学芸員プレミアム教室

園内を、当園の学芸員と一緒に観察しながら廻ります。
開催日：8月10日(水) 時間：午前10時～正午 定員：20名

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

〒250-0631
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817
TEL: 0460-84-7293
開園時間：9時～17時（入園は16時30分まで）
入園料：大人700円 小学生400円
<http://www.hakonekanko.com>



美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

花だより 9月号 2016

9月の見どころ

麓では、まだまだ残暑が厳しい季節ですが、標高 650m の箱根湿生花園では、朝晩涼しげな風が吹き抜けるようになりました。秋の気配を感じるこの季節、園内では、オミナエシやアサマフウロ、サワギキョウなど秋の花が見ごろを迎えています。

9月に入ると、ススキの穂が出揃うようになり、お月見には欠かせないワレモコウの花も見ごろを迎えます。



オミナエシ 「女郎花」(オミナエシ科)

秋の七草の一つとして古くから親しまれ、「万葉集」や「古今和歌集」の中でも多く詠まれています。

観察場所：②・植

見ごろの花 8/25 現在



レンゲショウマ 「蓮華升麻」キンボウゲ科

本州中部(福島県～奈良県)の太平洋側の山地に生える多年草。日本固有種で、1属1種の植物です。

観察場所：①



アサマフウロ 「浅間風露」フウロソウ科

中部地方の山地の湿地に生える多年草。日本のフウロソウの仲間ではもっとも大きな花を咲かせます。

観察場所：④・⑥



サワギキョウ 「沢枯梗」キキョウ科

北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。花期は長く、園内では1ヶ月以上楽しめます。有毒な植物です。

観察場所：⑤・⑥・⑦・植・⑧



ミズトンボ 「水蜻蛉」ラン科

本州～九州の日当たりのよい湿原に生える多年草。名前の由来は、湿地に生え花の形がトンボに似るため。

観察場所：植



キレンゲショウマ 「黄蓮華升麻」ユキノシタ科

名前の由来は、一見、レンゲショウマ(キンボウゲ科)に似て花が黄色なので。しかし全く異なる種類です。

観察場所：岩・⑧



サワヒヨドリ 「沢ヒヨドリ」ユリ科

フジバカマと同じ仲間でもクリンという物質を含んでおり、生干しにすると良い香りがします。

観察場所：園内各所

<草の花> シラヒゲソウ サギソウ ジャコウソウ スズムシバナ ゲンノショウコ オトコエシ キツリフネ
ツリガネニンジン ミズオトギリ ツルフジバカマ ヒヨドリバナ ヒゴタイ タチフウロ ウナヅキギボウシ
カワラナデシコ ユウガギク ハコネギク メドハギ ハイメドハギ キンミズヒキ マツカゼソウ ミソハギ
コウゾリナ ヤブラン コウホネ ベニコウホネ ネムロコウホネ ヒツジグサ ポンテデリア ほか
<木の花> ヤマハギ タマアジサイ ノリウツギ ホツツジ サツマハギ キンロバイ ハナツクバネウツギ ほか

9 月に見頃を迎える花



ワレモコウ

「吾木瓜・吾赤紅」 バラ科



ヤマハギ

「山萩」 マメ科



キイジョウロウホトトギス「紀伊上臈杜鵑」ユリ科



エゾリンドウ 「蝦夷竜胆」 リンドウ科



マツムシソウ 「松虫草」 マツムシソウ科



サワシロギク

「沢白菊」 キク科

<草の花> アケボノソウ サクラタデ アキギリ キバナアキギリ ツリフネソウ タカクマヒキオコシ ススキ ほか
<木の花> ヤマハギ ツクシハギ マルバハギ ほか

イベント

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。
選りすぐりの一枚をご応募ください。詳細はホームページをご確認ください。

学芸員プレミアム教室

園内を、当園職員と一緒に観察しながら回ります。

開催日：9月14日(水) 時間：午前10時～正午 定員：20名

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間：9時～17時(入園は16時30分まで)

入園料：大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>



美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

花だより 2016 10月号

10月の見どころ

台ヶ岳のススキの穂も出揃い、仙石原は本格的な秋を迎えています。この時期、園内ではイワシャジンやホトトギスなど、秋を代表する草花をお楽しみいただけます。

10月に入ると、コムラサキやイヌウメモドキといった木の実が色づくようになり10月も半ばを過ぎると園内の木々も徐々に色づき始めます。



サクラタデ 「桜蓼」(タデ科)

本州以南の日当たりの良い水辺に生える多年草。タデの仲間では最も大きな花を咲かせ、群生します。

観察場所: ③・⑥・⑧

見ごろの花 9/25 現在



ホトトギス 「杜鵑草」 ユリ科

山地の半日陰に生える多年草。名前の由来は花びらの斑点を鳥のホトトギスの胸にある模様になたとて。

観察場所: 園内各所



アケボノソウ 「曙草」 リンドウ科

各地の山地の湿地に生える2年草。1年目はオオバコに似た葉を広げ、2年目に花茎を伸ばして花が咲きます。

観察場所: ⑥・⑦・⑧・植



イワシャジン 「岩沙参」 キキョウ科

中部地方南部、関東地方西部の湿り気のある岩地に生える多年草。神奈川県では、丹沢山塊の沢沿いに咲いています。

観察場所: 岩



キバナアキギリ 「黄秋桐」 シソ科

本州～九州の山に生える多年草。名前の由来は、花が紫色のアキギリ(秋桐)に似て、黄花なので。箱根にも自生。

観察場所: ①・④・岩



マツムシソウ 「秘虫草」 マツムシソウ科

山地の草原に生える2年草。名前の由来はいくつか諸説があり、マツムシが鳴く頃に花が咲くからとも。

観察場所: ⑤



ツリフネソウ 「釣舟草」 ツリフネソウ科

各地の湿った山野によく群生する1年草。ホウセンカと同じ仲間で、実に触れるとタネがはじけ飛びます。

観察場所: 園内各所

＜草の花＞ サクラタデ ホトトギス アケボノソウ イワシャジン マツムシソウ ツリフネソウ キバナアキギリ
アキギリ タカクマヒキオコシ セキヤノアキチョウジ タイアザミ ノハラアザミ マアザミ タニジャコウソウ
ミヤコアザミ シロヨメナ ノコンギク キイジョウロウホトトギス エンシュウハグマ カシワバハグマ ススキ
ミズヒキ シロバナミズヒキ ウメバチソウ サワギキョウ エゾリンドウ アサマフウロ ヒツジグサ ほか
＜木の実＞ ガマズミ キミノガマズミ ツリバナ コマユミ ニシキギ イヌウメモドキ ほか

10 月に見頃を迎える花と実



ダイモンジソウ

「大文字草」 ユキノシタ科



ミセバヤ

「見せばや」 ベンケイソウ科



コムラサキ

「小紫」 クマツヅラ科



リンドウ

「竜胆」 リンドウ科



イヌウメモドキ

「犬梅擬」 モチノキ科



サラシナショウマ「晒葉升麻」キンボウゲ科

＜草の花＞ ヤマトリカブト ヤマラッキョウ キイトラッキョウ リュウノウギク ノハラアザミ ほか
＜木の実＞ ノイバラ ニシキギ コマユミ ナツハゼ クロウメモドキ イヌツゲ シオデ ほか
＜紅葉＞ ケヤキ ブナ ドウダンツツジ ヤマザクラ オオヤマザクラ ミヤマシグレ イロハモミジ ほか

イベント

湿原ハーモニカコンサート

複音ハーモニカによるアンサンブル演奏会を開催します。

開催日：10月2日(日) 時間：午前の部 11:00～ 午後の部 13:30～

演奏：鶴巻ハーモニカ、高村昌幸、厚木ひまわり

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。
選りすぐりの一枚をご応募ください。詳細はホームページをご確認ください。

学芸員プレミアム教室

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日：10月12日(水) 時間：午前10時～正午 定員：20名

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間：9時～17時(入園は16時30分まで)

入園料：大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。



美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

花だより 11月号 2016

11月の見どころ

朝晩の冷え込みによって、箱根湿生花園の木々も徐々に色づくようになりました。園内では、ガマズミやコムラサキなど、宝石のように美しい木の実が目立ちます。

もう少しばかりすると、イロハモミジやオオモミジ、オオイタヤメイゲツといったカエデの仲間が色づくようになり、本格的な紅葉シーズンをむかえます。



ガマズミ 「莢蒾」 (スイカズラ科)

北海道～九州の山野に自生し、箱根にも多く見られる落葉低木。名前の由来はよくわかっていません。

観察場所：サ・①・②

見ごろの花 10/25 現在



ヤマラッキョウ 「山辣蕪」 ユリ科

名前の由来は、山に生えるラッキョウの意味。球根はラッキョウのように太らないため、食用には向きません。

観察場所：⑦・植



キクタニギク 「菊溪菊」 キク科

本州、九州の山地のやや乾いた崖や林のふち、土手などに生える多年草。別名：アワコガネギク。

観察場所：①



リンドウ 「竜胆」 リンドウ科

根に強い苦味があり、漢方ではこの根を「竜胆（りゅうたん）」と呼び、健胃薬として用います。

観察場所：園内各所



サラシナショウマ 「晒葉升麻」 キンボウゲ科

日本各地の山地の林内に群生する多年草。漢方では、根茎を「升麻」と呼び、解熱剤などに用います。

観察場所：①・岩・⑧



コムラサキ 「小紫」 クマツヅラ科

実付きが良いので、庭木に利用されます。園芸店で「紫式部」の名前で売られているのは、コムラサキのことです。

観察場所：サ・⑦・⑧



リュウノウギク 「竜腦菊」 キク科

箱根の山道で多く見られるキクで、晩秋まで咲いています。葉や茎に竜腦に似た香りがあります。

観察場所：サ・①・②・岩

見ごろの花 10/25 現在

- <草の花> ヤマラッキョウ ウメバチソウ キクタニギク リュウノウギク リンドウ オヤマボクチ ヤマトリカブト
サラシナショウマ ダイモンジソウ ほか
- <木の実> ガマズミ キミノガマズミ ナツハゼ ノイバラ ノブドウ コムラサキ コマユミ ニシキギ イヌツゲ
シオデ イヌウメモドキ カマツカ クロウメモドキ メギ カラフトイバラ ほか
- <紅葉> ケヤキ ブナ ナツツバキ オオイタヤメイゲツ シラキ ナツハゼ ドウダンツツジ ニシキギ ミソハギ
シロヤシオ カスミザクラ カマツカ ミツバツツジ オオカメノキ ブルーベリー コバノズイナ ほか

11 月に見頃を迎える花と実



イロハモミジ

「いろは紅葉」 カエデ科



オオモミジ 「大紅葉」 カエデ科



ノジギク 「野路菊」 キク科



ノイバラ 「野茨」 バラ科



ノブドウ 「野葡萄」 ブドウ科



イソギク 「磯菊」 キク科

- <草の花> ノジギク アシズリノジギク イソギク リンドウ オヤマボクチ ほか
- <木の実> マユミ ノブドウ コムラサキ ノイバラ イヌツゲ シオデ ほか
- <紅葉> イロハモミジ オオモミジ オオイタヤメイゲツ イトマキイタヤ エンコウカエデ ハナノキ チドリノキ
カラコギカエデ ウリハダカエデ ホソエカエデ メグスリノキ コミネカエデ ヤマボウシ ほか

イベント

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。
選りすぐりの一枚をご応募ください。詳細はホームページをご確認ください。

学芸員プレミアム教室

園内を、当園職員と一緒に観察しながら廻ります。

開催日: 11月9日(水) 時間: 午前10時～正午 定員: 20名

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間: 9時～17時 (入園は16時30分まで)

入園料: 大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。



美しい日本の花と出会えるところ
箱根湿生花園

花だより

2016
最終号

ごあいさつ

イロハモミジやオオモミジといったカエデの仲間が色づき、箱根湿生花園の紅葉もいよいよ終盤を迎えています。花だよりはこの号が、今シーズンの最終号となります。箱根湿生花園は、12月1日より冬期休園となり、来春、3月、ミズバショウの開花とともに開園いたします。皆様の御来園を心よりお待ちしております。



イロハモミジ 「いろは紅葉」(カエデ科)

福島県以南の低山に生える落葉高木。紅葉の名所である
京都府の高雄に因んで、別名「タカオモミジ」。

観察場所：サ・①・岩・⑧

見ごろの花 11/15 現在



ノジギク 「野路菊」 キク科

兵庫・広島・山口・高知・愛媛・大分・宮崎
鹿児島県の海岸に生える多年草。栽培菊の原種とされています。

観察場所：⑤



イソギク 「磯菊」 キク科

本州(千葉～静岡県)の太平洋岸、伊豆諸島の海岸の崖などに生える多年草。名前の由来は磯に生える菊から。

観察場所：⑤



オオモミジ 「大紅葉」 カエデ科

本州～九州の主に太平洋側の山地に生える落葉高木。葉はイロハモミジに比べ大型。箱根でも多く見られます。

観察場所：サ・①・②



ノイバラ 「野茨」 バラ科

日本各地の山野に生える落葉低木。赤く色付いた果実は、漢方で下痢や利尿剤として用いられます。

観察場所：②・⑦



リンドウ 「竜胆」 リンドウ科

根に強い苦味があり、漢方ではこの根を「竜胆(りゅうたん)」と呼び、健胃薬として用いられます。

観察場所：園内各所



ガマズミ 「莢蒾」 スイカズラ科

北海道～九州の山野に自生し、箱根にも多く見られる落葉低木。名前の由来はよくわかっていません。

観察場所：サ・①・②

- <草の花> ノジギク アシズリノジギク イソギク オヤマボクチ リンドウ ほか
- <木の実> ガマズミ キミノガマズミ ナツハゼ ノイバラ コムラサキ イヌツゲ カマツカ マユミ
クロウメモドキ メギ ほか
- <紅葉> イロハモミジ オオモミジ コミネカエデ コハウチワカエデ ウリハダカエデ ウリカエデ
ヤクシマオナガカエデ メグスリノキ ミツバツツジ ドウダンツツジ コバノズイナ ほか

3月～4月上旬に見頃を迎える花



ミズバショウ

「水芭蕉」 サトイモ科



カタクリ 「片栗」 ユリ科



エゾノリュウキンカ 「蝦夷の立金花」 キンポウゲ科



キクザキイチゲ 「菊咲一華」 キンポウゲ科



ザゼンソウ 「座禅草」 サトイモ科



ミスミソウ 「三角草」 キンポウゲ科

- <草の花> ミズバショウ ザゼンソウ キクザキイチゲ ミスミソウ ショウジョウバカマ エゾノリュウキンカ
リュウキンカ カタクリ セリバオウレン エゾエンゴサク ハルトラノオ コシノコバイモ ほか
- <木の花> マメザクラ コブシ シデコブシ ウグイスカグラ ヒュウガミズキ ゲンカイツツジ ナニワズ ほか

イベント

フォトコンテスト 2016

2016年3月20日～11月30日までの間に、園内で撮影した写真を募集。
選りすぐりの一枚をご応募ください。詳細はホームページをご確認ください。

お問い合わせ

美しい日本の花と出会えるところ

箱根湿生花園

〒250-0631

神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

TEL: 0460-84-7293

開園時間: 9時～17時 (入園は16時30分まで)

入園料: 大人700円 小学生400円

<http://www.hakonekanko.com>

※天候などの条件によっては、実際の開花状況と異なることがあります。